

TOTO

東陶機器株式会社

自閉式サーモスタット シャワーバス金具・混合栓

商品のお問合せはTOTOお客様相談室へ



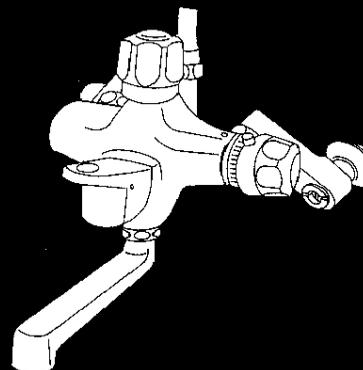
0120-03-1010

受付時間9:00~17:30(土・日・祝日を除く)

TOTO

ご愛用のしおり

- このたびは、**TOTO**自閉式サーモスタットシャワーバス金具・混合栓をお求めいただきまして、まことにありがとうございました。このしおりをよくお読みのうえ、正しくお使いください。
- このしおりは、大切に保存しておいてください。



もくじ

安全上の注意	1~2
特長・各部のなまえ	3~4
つかいかた	5~6
使用上の注意	7~8
ストレーナ及び自閉弁の掃除	9~10
温度調節のしかた	11
吐水量の調節のしかた	12
手入れのしかた	12
故障したときは	13

本社 〒802 北九州市小倉北区中島2-1-1ビル電話受付台(093)951-2111

'96.3

06953RR

安全のために必ずお守りください

ご使用の前に、この「安全上の注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。

- この説明書では、機器を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな表示をしています。その表示と意味はつぎのようになっています。

⚠ 注意 この表示の欄の内容を無視して誤った取扱いをすると、傷害または、物的損害が発生する可能性があることを示しています。

- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる場所に必ず保存してください。

⚠ 注意

- (1)シャワーをお使いになる前に、必ず手で適温かどうかを確かめてください。高温の湯が出てやけどをするおそれがあります。(シャワー付)
- (2)お使いになる前に、カラン側かシャワー側かを切替ハンドルで確認してから湯をお使いください。カラン吐水とシャワー吐水を間違うと、やけどをするおそれがあります。(シャワー付)
- (3)水栓の左側は給湯側のため高温になっています。水栓の表面に直接肌を触れないようにしてください。やけどをするおそれがあります。
- (4)熱湯をお使いのときには、カランは高温になっています。直接肌を触れないでください。やけどをするおそれがあります。(カラン付)
- (5)使用後は必ず温度調節ハンドルの目盛を40°C以下に戻しておいてください。次に使用すると、いきなり高温の湯を浴び、やけどをするおそれがあります。

- (6)高温の湯をお使いの後は、水栓内に高温の湯が残らないようしばらく水を流してください。次に使用すると、水栓内に滞留した高温の湯が出て、やけどをするおそれがあります。

- (7)ハンドルの温度位置を確かめた後、吐水してください。高温の湯が出てやけどをするおそれがあります。

- (8)温度調節ハンドルを急に回すと、温度が急上昇することがありますので、温度調節ハンドルはゆっくり回してください。やけどをするおそれがあります。

- (9)シャワー使用後は、切替ハンドルを必ずカラン側に切替えてください。切替ハンドルがシャワー側になっているのを気付かずに湯を出すと、やけどをするおそれがあります。(切替弁付)

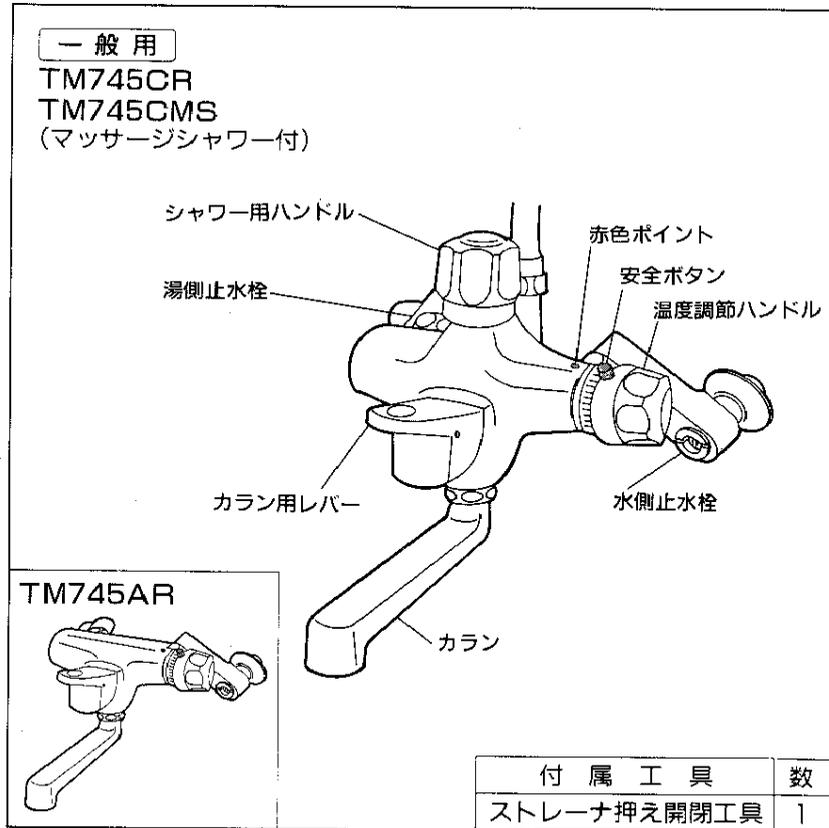
- (10)凍結が予想される際は、配管の水抜操作と水栓の水抜操作を同時に行ってください。凍結破損で漏水し、家財などを漏らす財産損害発生のおそれがあります。(寒冷地用)

- (11)ハンドルを急閉止させると、配管から漏水を起こすおそれがありますので、ゆっくり操作してください。漏水で家財などを漏らす財産損害発生のおそれがあります。

特長・各部のなまえ

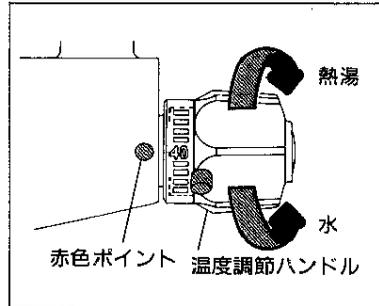
1. カラン用レバーを押すだけでカラン側より一定量吐水し、自動的に止水する自閉弁を内蔵しています。
2. カラン側が自動的に止水するので節水省エネに役立ちます。
3. カラン側吐水量の調節が簡単にできる吐水量調節ねじを設けています。
4. 混合水の温度をほぼ一定に自動調整しますので、使用中に給水・給湯圧力が変わっても温度変化はありません。
5. 温度調節ハンドルの操作ひとつでお望みの温度に変えられます。

6. 温度調節ハンドルは安全ボタン付ですので誤って熱湯を出すことはありません。
7. 配管中の砂やごみが機能部に入らないよう、ストレーナを設けています。
8. 圧力調整や内部の分解・清浄に便利な、止水栓を設けています。
9. 機能部がカートリッジ式になっているので、内部の分解・点検が簡単にできます。



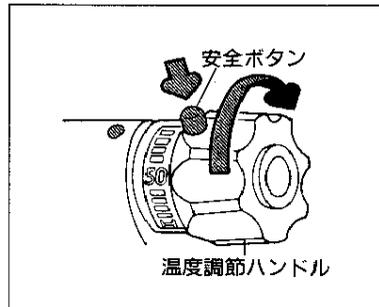
つかいかた

1. 温度調節



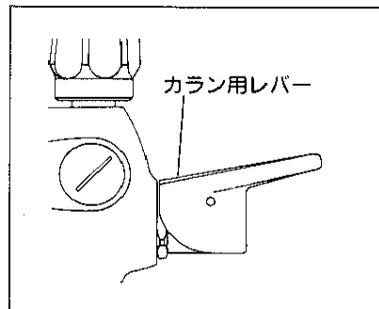
温度調節ハンドルを回してお望みのダイヤルを赤色ポイントに合わせてください。ダイヤルの数字は湯温を示す目安としてください。

2. 安全ボタン



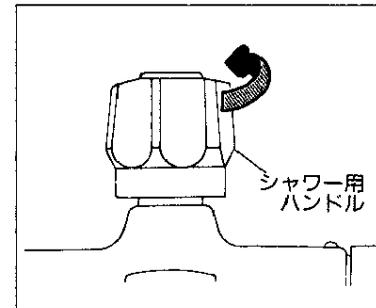
温度調節ハンドルには誤まって熱湯を出さないよう安全ボタンが付いています。ハンドルは目盛"40"付近でロックされますのでこれより高温で吐水させたいときは、安全ボタンを押して回してください。なお、安全ボタンを押して使用したときは、ハンドルを必ず目盛"40"以下に戻してください。

3. カラン吐水



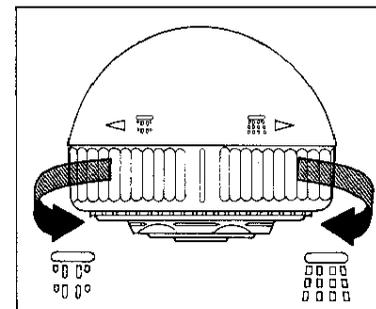
カラン用レバーを手で押して離すとカランから一定量吐水し自動的に止水します。

4. シャワー吐水(シャワーバス金具の場合)



シャワー用ハンドルを左に回すとシャワーから吐水します。左へ一杯に回すと吐水量が最大になります。

5. シャワー切替(マッサージシャワー付の場合)

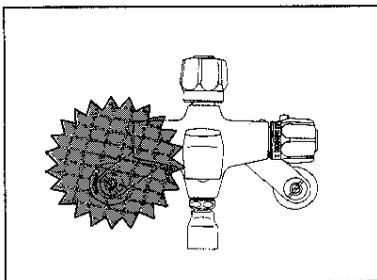


切替リングを左へ回すとマッサージ(断続)吐水し、右へ回すとシャワー(連続)吐水します。

使用上の注意

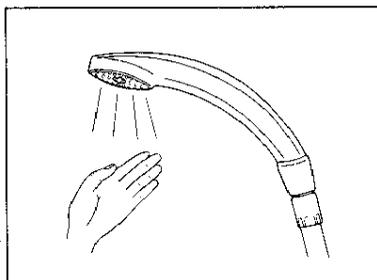
熱湯を使用しますので、火傷などの事故がないよう、必ず次の注意事項を守ってください。

1. 火傷に注意



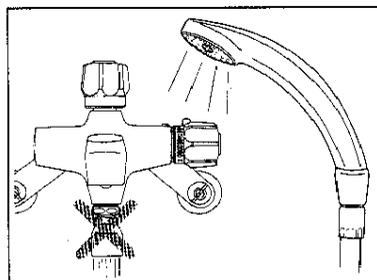
器具の左側は給湯側のため、高温になっています。金具の表面に直接肌をふれないようにご注意ください。また、高温で吐水させた後は、しばらく水を出し、高温の残水を流しておいてください。

2. 使用前に湯温を確かめる (シャワーバス金具の場合)



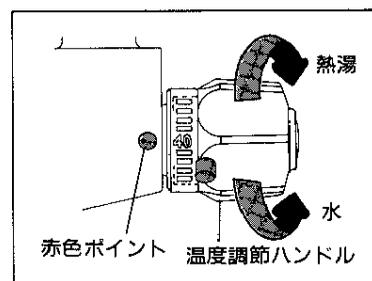
シャワーを使用する場合は、いったん手で湯温を確かめてください。

3. シャワー使用時には、カラン側を使用しない (シャワーバス金具の場合)



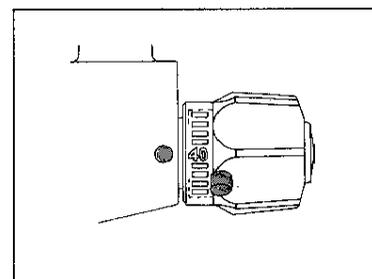
シャワー側を使用中、同時にカラン側から吐水させた場合にはシャワーの湯温が若干変わることがあります。シャワー使用時には、カラン用レバーを押さないでください。

4. 温度調節ハンドルはゆっくり回す



温度調節ハンドルは、ゆっくり回してください。急に回しますと温度があがりすぎる場合があります。

5. 温度調節ハンドルは“40”以下にする



熱湯を使用した後は、必ず温度調節ハンドルを“40”以下に戻してください。

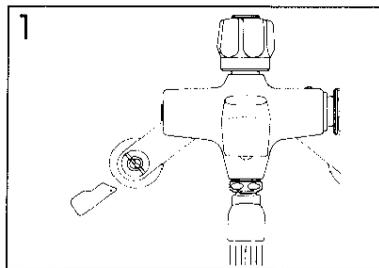
(これは次に使うとき、いきなり熱湯を浴びないためです。)

給湯機が瞬間型の場合

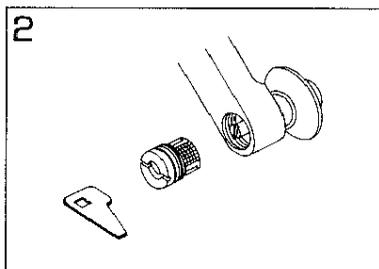
1. 吐水量が少ないと給湯機が着火しないことがありますのでハンドルはできるだけ全開でご使用ください。
2. 給水圧力が高く、吐水量が多すぎる場合は切替ハンドルで調節を行ってください。(切替ハンドルを全開にすると吐水量が多すぎる場合は、止水栓であらかじめ流量調節を行ってください。)
3. 混合水栓から吐水する温度より、10°C以上高い温水を供給するよう給湯機側の温度を設定してください。
4. 次の場合は、給湯機が着火しにくくなる場合があります。その場合は、給湯機の設定温度 (能力切替式の場合は能力) を少し下げてください。
 - ・ 給水圧力が低いとき
 - ・ 水温が高いとき

ストレーナ及び自閉弁の掃除

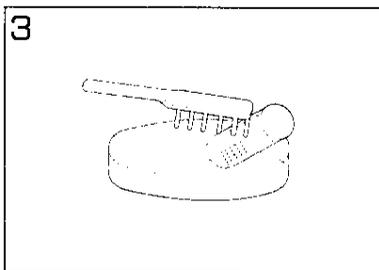
●ストレーナがつまると吐水量が少なくなったり、水又は熱湯が出なくなるなど十分な機能が発揮されなくなりますのでときどき次の要領でストレーナを掃除してください。



付属の開閉工具で止水栓を閉じてください。



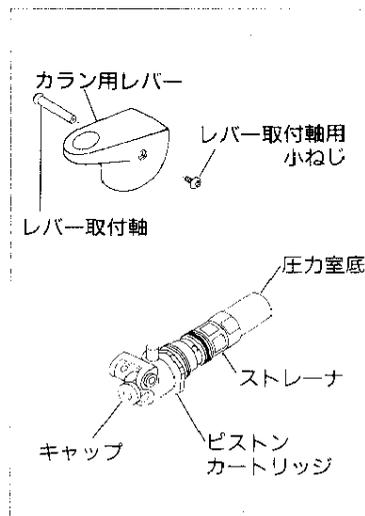
開閉工具を溝に差し込みストレーナをゆるめてください。



ストレーナを取り出し、ストレーナの網目につまったごみをブラシなどで取除いてください。

9

●自閉弁のストレーナがつまると吐水量が少なくなるなど機能が十分発揮されなくなります。掃除する場合は次の要領で掃除してください。



1. 止水栓を閉じる。
2. レバー取付軸をドライバーで固定しレバー取付軸用小ねじをドライバーでゆるめてカラン用レバーを取外す。
3. ピストンカートリッジをスパナでゆるめて取出す。
4. ストレーナの網目につまったごみをブラシなどで掃除し十分水洗いする。

⚠ 注意

ピストンカートリッジのキャップを操作した場合圧力室底からピンが飛び出ます。圧力室底に指などが触れた状態でキャップを操作しないようにしてください。

けがをするおそれがあります。

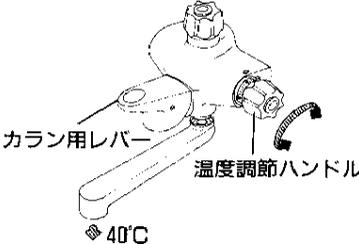
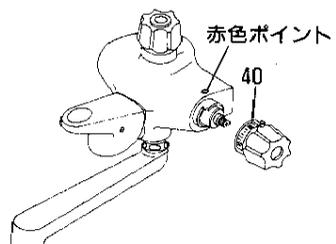
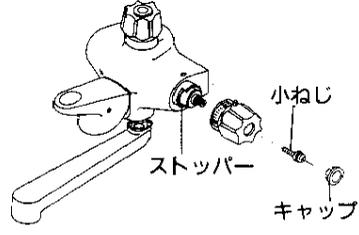
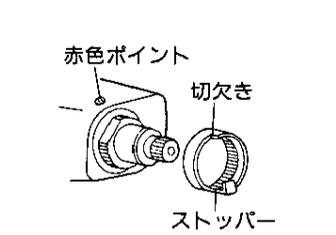
注：組立の際はピストンカートリッジがゆるまないよう十分に締付けてください。

温度調節のしかた

ダイヤル通りのお湯が出なくなった場合は、次の要領で温度調節してください。

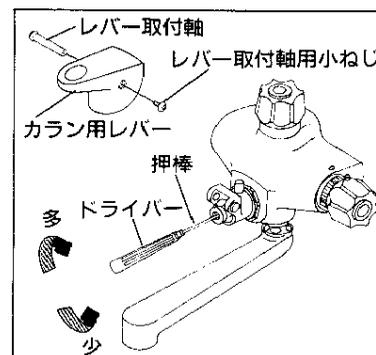
●調節する前に

- ストレーナのごみづまりはないか確かめる。
- 止水栓が全開しているか確かめる。
- 十分な温度(使用する温度より10°C以上)のお湯がきているか確かめる。

<p>1. カラン用レバーを押し、温度調節ハンドルの目盛に關係なく40°Cのお湯が出る位置まで温度調節ハンドルを回す。</p> 	<p>3. 温度調節ハンドルの“40”の文字と赤色ポイントを合わせてハンドルをはめ、小ねじで固定しキャップをはめる。</p> 
<p>2. 温度調節ハンドルが回らないよう注意してキャップ、小ねじをはずしてハンドルを抜きとる。</p> 	<p>注) 温度調節ハンドルを抜きとるとき、ストップバーがはずれたら赤色ポイントに切欠きを合わせてはめてください。</p> 

吐水量の調節のしかた

カラン側の吐水量を調節する場合は次の要領で行なってください。

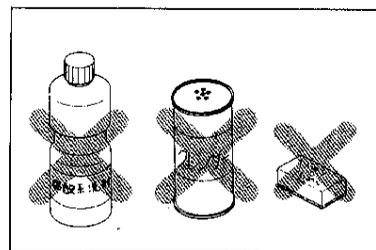


- レバー取付軸をドライバーで固定しレバー取付軸用小ねじをドライバーでゆるめてカラン用レバーを取外す。
- 吐水量調節ねじをドライバーで回転させて適当に調節する。
右回転……多くなる
左回転……少くなる
- 押棒を押して吐水量を確かめる。
- 調節が終わったらカラン用レバーを

取付け、レバー取付軸をドライバーで固定しレバー取付軸用小ねじがゆるまないよう十分に締付けてください。

手入れのしかた

めっきされた器具がいつまでも美しさを保つように、普段は柔らかな布でみがき、ときにはミシン油やカーワックスなどをしませた布でみがいてください。お手入れが十分ですと、いつまでもさびたりせず、美しい輝きを失いません。



なお、クレンザー・みがき粉や粗い粒子を含む洗剤及びナイロンたわしなどはめっき面を傷つけますので使用しないでください。また酸性洗剤はめっきを侵しますので使用しないでください。もし使用したときはすぐに器具を十分水洗いしてください。

故障したときは

故障したときの修理は取付工事店にご依頼ください。
なおご不明な点がございましたらお客様相談室にお問合わせください。

修理を依頼される前に

簡単な故障はご家庭でも直せますので修理を依頼される前に下表の点検をしてください。

故障内容	点検	点検項目
■シャワーの吐水量が少ない	① ②	① 止水栓は全開されているか。 ② ストレーナの目づまりはないか。 ③ 温度調節は適当か。 ④ 自閉弁のストレーナの目づまりはないか。 ⑤ 吐水量調節ねじの調節はされているか。 ⑥ レバー取付軸用小ねじはゆるんでいないか。
■カランの吐水量が少ない	① ② ④ ⑤	
■カランの吐水量が多い	⑤	
■カランの吐水時間が長い	⑤	
■高温しか出ない	① ② ③	
■低温しか出ない	① ② ③	
■ダイヤル通りのお湯が出ない	① ② ③	
■カラン用レバーがガタつく	⑥	

※点検方法は「ストレーナ及び自閉弁の掃除」、「温度調節のしかた」「吐水量の調節のしかた」の項を参照ください。

●メモされておくと便利です。

購入年月日	購入店名
年 月 日	電話 ()